

地域公共交通に関するアンケート調査の結果 約3割の町民が「利用しやすくなれば乗るため、 利便性を高めるべき」と回答

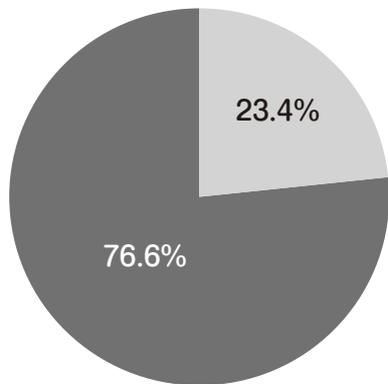
8月に実施しました地域公共交通に関するアンケートでは、4,649名の方にご回答いただきました。

アンケートの結果では、町営バスに乗ったことがある方は、23.4%になっており、普段から公共交通を利用されている方は、7.6%にとどまっています。一方で、利用しやすくなれば乗る人は、31.7%となっています。



町営バスを知っていますか？ 乗ったことはありますか？

回答者数：4,588人

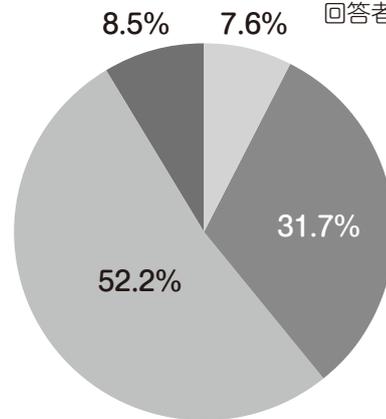


- 知っているし、乗ったことがある
- 知っているが、乗ったことはない。まったく知らなかった。



公共交通に対するお考えは？

回答者数：4,471人

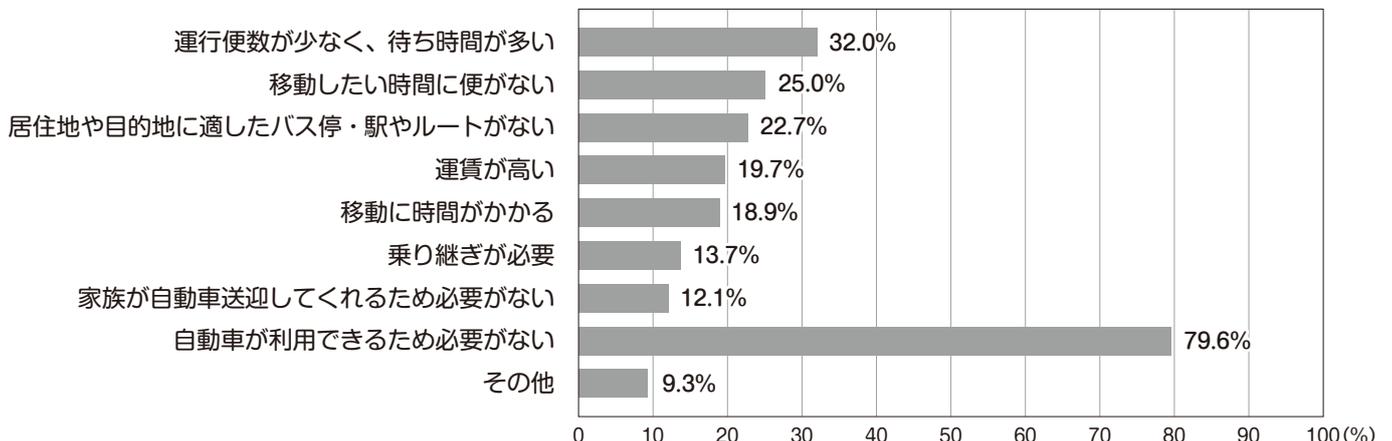


- 普段から利用しているため、なくてはならない
- 利用しやすくなれば乗るため、もっと利便性を高めるべき
- 何かの際には、安心できるので、走らせておくべき
- 乗る可能性はないので、なくなっても困らない

公共交通を利用しない理由として、「運行便数が少ない」「移動したい時間に便がない」「適したバス停やルートがない」などのお声をいただきました。今後、皆さんのお声をもとに、公共交通活性化「わたむき自動車プロジェクト」において、みんなが利用しやすい公共交通について、検討を進めていきます。

公共交通を利用しない理由は？

回答者数：3,947人





歴史民俗資料館 近江日野商人館

近江日野商人館は昭和56年10月に開館し、今年40周年を迎えました。典型的な日野商人の本宅の特徴を持つこの建物は、日野商人のひとりである山中兵右衛門さんが町の振興のために寄贈されたものです。

近年、日野商人の歴史や理念を学ぶ企業研修のため訪れる人が急増しており、コロナ禍前には海外からの訪問もありました。また、町内の子どもの地域の学習にも役立てられています。



今回、15年間館長を務めておられる満田良順さんにお話をうかがいました。

貴重な展示品の数々

1階では建物自体を、2階では昔の道具や日野商人に関する展示物を見てもらえるように配置しており、時期によって展示品を入れ替えています。

中には、日本一古い国産のワイン、貴重な石薬、戦時中に作られた焼き物のコインなど、

ど、ここで見られないような資料もたくさんあります。

さまざまな企画展

日野ひなまつり紀行で歴史ある雛人形の数々を展示しているほか、夏には戦争関連、秋の棧敷窓アート時には日野商人に関する企画を定期的に開催しています。その他、これまで日野にゆかりのある芸術家や道具、工芸品、写真など多様な企画展を開催してきました。

蓄音機展の際には、町内から40点ほどの蓄音機が集ま

り、日野商人が古くから都会の文化を持ち帰り、日野に根付いていたことをうかがい知ることができました。また、おもしろ野菜の写真展のように、地域の方の声から生まれた企画もあります。

満田さんは「今後も、日野町にしかないもの・日野町の良さを知ってもらえる企画をしていきたい」と話されました。

知ってほしい、 日野商人のすばらしさ

満田さんは「日本の経済の

仕組みを作った日野商人の知恵や精神のすばらしさを多くの人に知ってほしい。来館者から『日野商人ってすごかったんですね』と言われることが一番嬉しい」と話されました。

近江日野商人館では、館長はじめ職員が時間の許す限りじっくりと説明します。また、何度来ても楽しんでもらえるように、新鮮味を意識して展示や企画展を工夫しています。何度でもぜひ訪れてみてください。

山中利之さんから 寄付・寄贈いただきました

10月14日(木)、山中利之さん(静岡県在住)から町へ近江日野商人館の40周年記念として30万円の寄付と横山大観作『神国日本』のリトグラフの掛軸を寄贈いただきました。山中さんは、40年前、現在近江日野商人館となっている自宅を町の振興のために寄贈いただいた山中兵右衛門家の現当主です。

近江日野商人館をより良いものとするために有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

